

Titles of articles in other botanical journals

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-03-07 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.24517/00053402

This work is licensed under a Creative Commons
Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0
International License.



植物関連雑誌のタイトル紹介

(括弧内は頁数を示す。雑誌によっては編集部で植物自然史関係のもののみ選択した。雑誌の閲覧を許可された富山市科学博物館、富山県中央植物園に感謝いたします。掲載を希望される方は、雑誌を編集部までお送り下さい。)

○ 利尻研究 第 27 号 2008 年 3 月

(〒097-0311 北海道利尻郡利尻町仙法志字本町 136 利尻町立博物館)

五十嵐八枝子：利尻島の種富湿原における後期完新世の植生変遷史 (1-7) / 佐藤雅彦：移入種としての利尻島未記録のイチリンソウ属 2 種 (21-24) / 大石善隆・山田耕作：利尻島産のタイ類とツノゴケ類 (63-72)

○ 知床博物館研究報告 第 29 集 2008 年 3 月

(〒099-4113 北海道斜里郡斜里町本町 49-2 斜里町立知床博物館)

内田暁友：北海道新産の帰化植物ヒロハウキガヤ (イネ科) (41-42)

○ 上士幌町ひがし大雪博物館研究報告 第 30 号 2008 年 3 月

(〒080-1403 北海道河東郡上士幌町字糠平 上士幌町ひがし大雪博物館)

清水長生・山川信之：春日風穴と西クマネシリ風穴における地形・植生の資料 (21-27)

○ 北国研究集録 第 11 号 2008 年 3 月

(〒096-0063 北海道名寄市字緑丘 222 名寄市北国博物館)

三浦忠一：名寄川水系の植物 (1-14) / 山口正弘：旭川市嵐山公園の植物 (15-32)

○ 秋田県立博物館研究報告 第 33 号 2008 年 3 月

(〒010-0124 秋田県秋田市金足鳩崎字後山 52 秋田県立郷土館)

阿部裕紀子：秋田県立博物館分館・旧奈良家住宅敷地内の植物 (1-10)

○ 秋田自然史研究

(〒010-0873 秋田県秋田市千秋城下町 8-18 田中政行方 秋田自然史研究会)

第 52 号 2007 年 11 月 — 菊地卓弥：秋田県新産のシダ植物—ツクシイワヘゴ (1-2) / 猿田 基：絶滅種イトクズモの再発見 (3-4) / 高田 順：秋田県大潟村の野生植物 補遺 1 (5-6)

第 53 号 2008 年 2 月 — 高田 順：雄物川の水生植物相—船着場付近の植物を中心として— (15-19) / 沖田貞敏：大浦沼の植物について (20-27) / 沖田貞敏：ツルキケマン、アイナエ、イバラモ (28-29) / 菊地卓弥：秋田県北秋田市大野台の松栄周辺の暖地性シダについて (45-48)

第 54 号 2008 年 11 月 — 高橋祥祐・山田耕作：秋田県産のタイ類とツノゴケ類のチェックリスト (1-15) / 菊地卓弥：帰化植物のオッタチカタバミについて (26-30) / 林 紀男・高田 順・尾崎保夫：八郎潟旧湖岸水路底泥 (秋田県潟上市) の埋土種子発芽能 (31-33)

○ フロラ福島 No.25 フロラ福島発刊 25 周年記念号 2008 年 9 月

(〒970-8045 福島県いわき市郷ヶ丘 2 丁目 49-22 湯澤陽一方 福島県植物研究会)

伊賀和子：相双地域における希少種 10 種の新産地 (7-12) / 富田武子：国県指定絶滅危惧種Ⅱ類「ミヤマツチトリモチ」採取報告 (13-15) / 菅野修三：相馬市植物短報 (16) / 本多 隆：猪苗代町の帰化植物 (17-22) / 櫛田正行：いわき市小名浜のオオアカウキクサについて (34) / 湯澤陽一：北海道東大雪地方の苔類 (39-46) / 上野雄規：県版 RDB 東北六県対照表 (維管束植物) 福島県産種 (47-64) / 山田恒人・佐藤健司：飯豊山系龍ノ山のシダ植物 (第 1 報) (65-69) / 樋口利雄・野中俊夫：福島県宇多川溪谷の蘚類 (71-76) / 笠原 航・樋口利雄・五十嵐 彰・佐藤光雄・野中俊夫・遠藤守雄・大松健一郎：植生復元手法の検討 — 酸ヶ平・姥ヶ原地区の事例 — (第 2 報) (77-82) / 湯澤陽一・堀 富男・山田恒人：いわき市鮫川流域のシダ植物 (83-104) / 湯澤陽一：シャグマハギいわき市に帰化 (104) / 五十嵐 彰・須賀紀一・野中俊夫・樋口利雄・渡部秀哉：霊山の植物 4 (105-109) / 湯澤陽一：北海道当麻町当麻鍾乳洞周辺の苔類 (110) / 山内幹夫：福島県内市町村史に見るフロラ・アーカイブズについて (111-125) / 湯澤幸代：郡山市にバラモンジ

ンが帰化する (126) / 野中俊夫・菅野修三：霊山・古霊山およびその周辺のササについて (1) 主に稜線沿いの分布について (127-136) / 堀 富男：福島県新産植物と稀産植物の新産地 (7) (137-141) / 上野雄規：今野礼三が川崎哲也に宛てた 70 通の書簡 (143-147) / 湯澤陽一：ムクロジの自生北限が竜神峡 (いわき市) まで北上する (148) / 本多 隆・富田國男：磐梯山の明治噴火の泥流地にブナ・トチノキの合体例 (149-150) / 樋口利雄：福島市の新産帰化植物 (151-152) / 湯澤陽一：キキョウソウいわき市で分布を広げる (152) / 佐藤健司：フガクスズムシソウの新産地について (153-154) / 湯澤陽一：幻のシダ、クリハランについて (154) / 樋口利雄：フロラ福島 25 年略史 (155-161)

○ 栃木県立博物館研究紀要 ー自然ー 第 25 号 2008 年 3 月

(〒320-0865 栃木県宇都宮市睦町 2-2 栃木県立博物館)

富永孝昭：栃木県およびその隣接地域におけるウキゴケ属 (ウキゴケ科) の分布と生態 (1-16)

○ 群馬県立自然史博物館研究報告 第 12 号 2008 年 3 月

(〒370-2345 群馬県富岡市上黒岩 1674-1 群馬県立自然史博物館)

大森威宏：群馬県産の「オオバメドハギ」と「カラメドハギ」について (55-57) / 大森威宏：群馬県立自然史博物館寄贈標本から見いだされた群馬県産テバコワラビ (*Athyrium atkinsonii* Bedd.) とエゾメシダ (*Athyrium brevifrons* Nakai ex Tagawa) (59-62)

○ 食虫植物研究会々誌

(〒102-8159 東京都千代田区富士見 1-9-20 日本歯科大学生物科学教室 食虫植物研究会)

第 58 巻第 4 号 (通巻第 201 号) 2007 年 10 月 — 外山雅寛：北海道黒松町内で新発見の湿原 (124-126)

第 59 巻第 1 号 (通巻第 202 号) 2008 年 1 月 — 小宮定志：コウシンソウとムシトリスミレにまつわる昔話 (23-24) / 外山雅寛：北海道新篠津湿原にもベンテンコタヌキモが分布した (25-26)

第 59 巻第 2 号 (通巻第 203 号) 2008 年 4 月 — 片桐義昭：ムジナモについてのひとつの仮説 (35-36)

第 59 巻第 3 号 (通巻第 204 号) 2008 年 7 月 — 相良順一：自生地調査における PDA (携帯情報端末機器) 活用の薦め (57-60)

第 59 巻第 4 号 (通巻第 205 号) 2008 年 10 月 — 小宮定志：埼玉県における天然記念物の保護・増殖 (95-102)

○ 神奈川県立博物館研究報告 自然科学 第 37 号 2007 年 3 月

(〒250-0031 神奈川県小田原市入生田 499 神奈川県立生命の星・地球博物館)

田中徳久・勝山輝男：標本データによる神奈川県における帰化植物の分布の拡大 (23-30)

○ 神奈川自然誌資料 第 29 号 2008 年 3 月

(〒250-0031 神奈川県小田原市入生田 499 神奈川県立生命の星・地球博物館)

塩野貴之・持田幸良：丹沢山地における登山道が周辺植生に与える影響 (11-15) / 安藤友里子・持田幸良：丹沢山地に生育するオオバイケイソウの地上部個体密度とその生育立地との関係 (17-26) / 平岡照代・平岡正三郎：神奈川県立恩賜箱根公園のコケ植物 (27-34)

○ 横須賀市博物館研究報告 (自然科学) 第 55 号 2008 年 3 月

(〒238-0016 神奈川県横須賀市深田台 95 横須賀市自然・人文博物館)

大森雄治：横須賀市自然・人文博物館付属馬堀自然教育園における植物相の変遷 — 三浦半島のある二次林の 50 年間の変遷 — (29-46) / 神奈川県植物誌調査会三浦ブロック・三浦半島植物友の会：三浦半島南部、武山の植物相とその特色 (47-65)

○ 山梨植物研究 第 21 号 2008 年 4 月

(〒400-0025 山梨県甲府市朝日 1-6-8 跡部浩一方 山梨県植物研究会)

村田 源：フジバカマとその学名 (1-5) / 馬淵智生・萩巣樹徳・中込司郎：日本産イチリンソウ属 *Anemonanthea* 節 6 種の形態と DNA 含量 (6-14)

○ 長野県環境保全研究所研究報告

(〒381-0075 長野県長野市北郷 2054-120 (飯綱庁舎) 長野県環境保全研究所)

第 3 号 2007 年 3 月 — 小山泰弘・浜田 崇・片倉正之：採石跡地の温度環境と植栽による植生回復状況 (63-69) / 富樫 均：過去 100 年にわたる里山の環境変遷復元の試み —飯綱町矢筒山の事例— (79-86) / 川上美保子・大塚孝一・富樫 均：飯綱町矢筒山の植物相 (93-99)

第 4 号 2008 年 3 月 — 須賀 丈：中部山岳域における半自然草原の変遷史と草原性生物の保全 (17-31) / 尾関雅章・大塚孝一：長野県固有種コマウスユキソウの個体群構造 (55-59) / 前河正昭：特定外来生物アレチウリ、オオキンケイギク、オオハングンソウ、オオカワヂシャの長野県内における分布概況 (61-66) / 大塚孝一・尾関雅章：千曲川本流における特定外来生物オオカワヂシャ (ゴマノハグサ科) の分布 (93-95) / 大塚孝一・永井茂富・尾関雅章：長野県環境保全研究所飯綱庁舎自然観察路沿いの植物相 (97-103) / 川上美保子・大塚孝一：霧ヶ峰草原における火入れ実施による植生の変化 (105-109)

○ 長野県植物研究会誌 第 41 号 2008 年 12 月

(〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1 信州大学理学部 長野県植物研究会)

佐藤利幸・松浦亮介・長谷川雅則・棕本祐司・北原 光・一山加奈子・中尾有紀・田中崇行・大山真由子・片桐知之・片岡陽介・井坂友一：新松本市の植物多様性とシダ植物相～日本と地球，再青緑への信州自然環境情報ステーション～ (1-10) / 田中崇行・佐藤利幸：亜熱帯性シダ植物の北進？ (名古屋市モエジマシダと松本市ホウライシダ) (11-17) / 上野勝典・上野由貴枝：塩尻市の暖地性シダとカタキノデの生育状況 (19-23) / 名取 陽：ハヶ岳連峰におけるダケカンバおよびシラカンバの分布と生態 (37-46) / 井浦和子：長野県高山村におけるカイサカネランの新産地 (47-48) / 横内文人：故・小泉秀雄先生の野帳 (3) (63-77) / 清水建美 (編)：「長野県植物誌」補遺 (11) (79-80)

○ 長岡市立科学博物館研究報告 第 43 号 2008 年 3 月

(〒940-0072 新潟県長岡市柳原町 2-1 長岡市立科学博物館)

白崎 仁：新潟県で 53 年ぶりに記録された珍しいコケ植物 (21-22) / 櫻井幸枝：新潟県産アキノタムラソウの形態に関する報告 (23-28)

○ 富山市科学博物館研究報告 第 31 号 2008 年 2 月

(〒939-8084 富山県富山市西中野町 1-8-31 富山市科学博物館)

根来 尚：小矢部市内の農耕地での訪花昆虫調査 (59-71) / 根来 尚：氷見市島尾海岸の訪花昆虫調査 (73-83) / 佐藤 卓：チョウセンゴヨウ (*Pinus koraiensis* Siebold et Zucc.) の針葉の地理的変異 (85-93) / 太田道人：富山県新記録の植物 19 (97-98) / 太田道人：都市河川「いたち川」の護岸上に生育する植物リスト (115-122)

○ 富山県中央植物園研究報告 第 13 号 2008 年 3 月

(〒939-2713 富山県富山市婦中町上轡田 42 富山県中央植物園)

吉田めぐみ・山下寿之：富山県を代表する植物群落の 30 年の変化 (1-14) / 山下寿之・吉田めぐみ・大沼進：立山自然保護センターで採取した靴底土から発芽した植物 (15-21) / 大原隆明・井上さち子：富山県で野生化したシンジュボシマンネングサ (新称) *Sedum pallidum* (23-26) / 志内利明・神戸敏成：富山県におけるベニシスランの自生地と染色体数 (27-30) / 兼本 正・志内利明：日本産ヒメキランソウの染色体数 (英文) (31-34) / 中田政司・王 仲朗・魯 元学・王 霜・管 開雲：中国雲南省楚雄市の常緑広葉樹二次林におけるトウツバキ個体群の観察 (35-40) / 神戸敏成・魯 元学・李 景秀・管 開雲：中国雲南省産ベゴニアの組織培養における植物成長調整物質の影響の比較 (英文) (41-46) / 大原隆明・中央植物園友の会植物誌部会・山下寿之：富山県フロア資料 (12) (47-61) / 橋屋 誠：富山県高等菌類資料 (6) (63-66) / 橋屋 誠・能勢育夫：北陸地域で採集された 2 種の稀少きのこ (67-69)

○ 富山の生物 第 47 号 2008 年 3 月

(〒930-8555 富山県富山市五福 3190 富山大学理学部生物学教室 富山県生物学会)

佐藤 卓・松村 勉・野口 泉・石須秀和：富山県魚津市角川流域の植生と森林群落の概況 (1-8) / 石須秀

和：富山県魚津市角川流域の植物チェックリスト (11-24) / 石須秀和・野口 泉・松村 勉・佐藤 卓：富山県魚津市角川流域 5 池沼の植物相 (25-31) / 中田政司・木内静子：魚津市のため池に二倍体クロモが生育 (37-38) / 佐藤 卓・松村 勉・金子靖志・谷口文明・安井基一・野口 泉・平内好子：富山県奥黒部の針広混交林の森林構造 (65-73) / 佐藤 卓：2007 年全国ブナ結実状況 (75-80)

○ 石川県白山自然保護センター研究報告 第 34 集 2007 年 12 月

(〒920-2326 石川県白山市木滑ヌ 4 石川県白山自然保護センター)

野上達也・中村こすも・小谷二郎・野崎英吉：2007 年の石川県加賀地方のブナ科樹木 3 種の結実状況 (11-20) / 野上達也・中山祐一郎・柳生敦志：白山の室堂と南竜ヶ馬場に侵入したオオバコの個体数とサイズの年次変化 (21-30)

○ 河北潟総合研究 第 11 巻 2008 年 3 月

(〒920-0267 石川県河北郡内灘町字大清台 302 NPO 法人河北潟湖沼研究所)

川原奈苗・白井伸和・高橋 久：河北潟の沿岸帯の植生Ⅲ —主に森下川河口域周辺について— (1-6)

○ 福井総合植物園紀要 第 6 号 2008 年 3 月

(〒916-0146 福井県丹生郡越前町朝日 17-3-1 福井総合植物園)

若杉孝生：細井コレクションのなかの福井県フローラに寄与するいくつかの重要な資料について (1-11) / 若杉孝生：福井県越前町立福井総合植物園収蔵標本目録 I (13-41) / 若杉孝生：福井県フローラへの新追加 (43-44)

○ Ciconia

(〒912-0131 福井県大野市南六呂師 169-11-2 福井県自然保護センター)

Vol. 11 2007 年 2 月 — 平山亜希子・関岡裕明・谷保裕子・松村俊幸：三方五湖 (三方湖・水月湖・菅湖・鱒川河口) における水草の分布 (I) (49-58) / 平山亜希子・上坂正夫：南川中流域の水田におけるスズメハコベなど希少な湿生植物の分布 (59-63) / 水谷瑞希・多田雅充：2005 年の福井県におけるブナ科樹木 4 種の結実状況 (64-73)

Vol. 12 2007 年 12 月 — 高橋智子・高橋茉莉子・赤井賢成：福井県における外来植物の生育状況 (1) —国道 8 号線板垣交差点付近の沿道植生のフロラ調査から (19-23) / 赤井賢成・香川正行：福井市で確認されたクロヤツシロラン *Gastrodia pubilabiata* Sawa (ラン科) の新産地と生育状況 (25-34) / 平山亜希子・関岡裕明・前野正博・谷口康男・垣内 浩・長谷川 巖：小学校の無農薬水田における水田雑草の管理と水田生物の保全—冬期湛水, 深水管理, 中干し延期の効果検証— (35-42) / 水谷瑞希・多田雅充：2006 年の福井県におけるブナ科樹木 4 種の結実状況 (43-52)

○ 福井市自然史博物館研究報告 第 54 号 2007 年 12 月

(〒918-8006 福井県福井市足羽上町 147 福井市自然史博物館)

西村直樹・芦田喜治・日出幸啓子・今川邦彦・川合啓二・狩野登之助・立石幸敏・道盛正樹：足羽山 (福井県福井市) の蘚苔類目録 (83-90) / 持田 誠・佐藤友香：福井農林学校の桑標本が北海道大学総合博物館に収蔵されている (91-94)

○ 岐阜県植物研究会誌 第 23 巻 2007 年 12 月

(〒501-1193 岐阜県岐阜市柳戸 岐阜大学教育学部生物学教室植物分類研究室内 岐阜県植物研究会)

箕浦博之：岐阜県のヤマグルマ科, カツラ科, 及びフサザクラ科 (1-3) / 広田艶子：岐阜県のツヅラフジ科 (4-5) / 大塚たえ：岐阜県のドクダミ科 (6-7) / 山崎玲子：岐阜県のツバキ科 (8-11) / 山崎玲子：岐阜県のスミレ科 (12-26) / 山崎玲子：岐阜県のラン科 (27-48) / 佐藤和良：岐阜県に見られるヒルガオ科植物 (49-53) / 佐藤和良：岐阜県に見られるザクロソウ科, スベリヒユ科及びアカザ科植物 (54-58) / 佐藤和良：岐阜県に見られるイグサ科植物 (59-65) / 福岡義洋：岐阜県に見られるベンケイソウ科植物 (66-71) / 宮崎弘規：岐阜県のシダ植物 (1) (72-88) / 須賀瑛文・山崎玲子：帰化植物アレチケツメイ (*Chamaecrista nictitans*) の新たな分布地 (89-91) / 宮崎弘規：岐阜県におけるイヌイワイタチシダの新産地 (92) / 須賀

瑛文：可児市にもマルバツユクサ (93-94) / 高橋 弘・横山文美：岐阜県に産するカエデ科植物 (95-119) / 高橋 弘・横山文美：カエデ科植物の性型と性表現 (120-123) / 高橋 弘：岐阜県に見られるユリ科植物 IV (124-132) / 高橋 弘：裸子植物の受粉 (5) (133-137)

○ 富士竹類植物園報告 第 52 号 2008 年 8 月

(〒411-0932 静岡県駿東郡長泉町南一色 885 日本竹笹の会)

川端弘子：ササ属の形質変異に関する研究 (2) (3-14) / 村松幹夫：四国東部におけるネザサ類その他の分布調査 (15-24) / 解語 玄：愛知県知多半島の竹調査 (25-34) / 三樹和博：伊豆七島におけるササ類の分布 (35-48) / 長谷川義人：アオナリヒラ (*Semiarundinaria viridis* (Mak.) Makino) の交互性枝序 (49-53) / 若山幸央：モウソウチクの部分開花・2007 (57-66)

○ ため池の自然 第 45 号 2008 年 4 月

(〒480-1195 愛知県愛知郡長久手町岩作 愛知医科大学医学部寄生虫学教室 近藤繁生方 ため池の自然研究会)

大沼淳一：名古屋・東山新池における園芸種スイレン除去の試みについて (19-23)

○ 鳳来寺山自然科学博物館館報 第 37 号 2008 年 3 月

(〒441-1944 愛知県新城市門谷字森脇 6 新城市鳳来寺山自然科学博物館)

中西 正：奥三河のセツブンソウとその生育環境 (29-38) / 成田 務：岡崎市鳥川周辺のコケ植物 (39-46)

○ 大阪市立自然史博物館研究報告

(〒546-0034 大阪府大阪市東住吉区長居公園 1-23 大阪市立自然史博物館)

第 60 号 2006 年 3 月 — 藤井伸二：大阪市立自然史博物館収蔵種子植物標本目録 2 — 薩摩黒島産標本 — (31-54)

第 62 号 2008 年 3 月 — 道盛正樹・佐久間大輔・木村全邦・芦田喜治：大阪府蘚苔類資料 1 大阪城公園の蘚苔類 (13-20) / 内貴章世：ヒロハコンロンカ (アカネ科) の繁殖様式 (英文) (21-26) / 志賀 隆・大阪市立自然史博物館大和川水系調査グループ水生植物班：大和川水系におけるカワヂシャと外来植物オオカワヂシャおよび雑種の分布 (65-74) / 内貴章世・大阪市立自然史博物館大和川水系調査グループ植物班：大和川水系におけるアリドオシ (アカネ科) の分布と染色体数 (75-80)

○ 自然史研究

(〒546-0034 大阪府大阪市東住吉区長居公園 1-23 大阪市立自然史博物館)

第 3 巻第 7 号 2008 年 2 月 — 藤井伸二：大阪市立自然史博物館収蔵種子植物標本目録 3 — モチノキ科 — (107-125)

第 3 巻第 9 号 2008 年 7 月 — 藤井俊夫：大和川下流部の植物相 (137-142)

○ 京都植物 第 29 巻

(〒606-0026 京都府京都市左京区岩倉長谷町 486 1F 1-3 田中 徹方 京都植物同好会)

第 1 号 2008 年 1 月 — 村田 源：ヘンリーメヒシバ 不動川砂防歴史公園に (6) / 村田 源・津軽俊介：京都府新産植物 28 (6-10) / 津軽俊介：竹内敬先生採集の京都府産貴重標本 (10-14) / 西澤信一：帰化植物との出会い (14-15) / 田中 徹：鴨川のコゴメイの記録 (16)

第 2・3 号 2008 年 9 月 — 村田 源：コイヌガラシ大山崎町で再発見 (9-10) / 小柳道子：[京都の植物方言調査] 京都市左京区大原百井町における聞き書き (10-13) / 川辺龍太郎：ちょっと驚く北桑田高校の樹木 (13-18) / 田中 徹：タテバチドメグサが高瀬川に現れる！ (23-24)

○ みねはな 第 55 号 2008 年 3 月

(〒603-8112 京都府京都市北区小山元町 44 吉川直人方 みねはな会)

水野重昭：ギンバイソウ属の葉の切れ込みについて (2-3) / 村田 源：大阪府枚方市香里団地にコケリンドウが自生 (4-6) / 日原誠介：日本レッドデータプランツ繁殖記 (11) — 照葉樹林帯のイラクサ科植物 — (6-

10) /片山泰雄：トクシマコバイモのその後の報告 (11) /水野重昭：八重咲の *Limnanthes douglasii* (12-13) /高橋 亮：ヒメカンアオイ取材 (14-15) /安藤速雄：万葉にみる山草文化のルーツ (16-17) /久志博信：チベット、ダライ湖周辺で見かけた植物 (18-20) /吉川直人：中国のヒガンバナ属、リコリス・アウレア (24-25) /瀬野純一：ムロウテンナンショウとムロウマムシグサ (26-29) /土本和子：イラン北西部の高原に咲く花 “真っ赤な巨大ケシ *Papaver orientale* を求めて” (30-36) /岡島一允：私のカヤツリグサ科植物よもやま話 (37-43) /森 和男：日本山草史・明治編 V (44-53) /片山泰雄：希少野生動植物規制徳島県条例発布について (57-58) /合田隆行：「山野草偉人伝 草匠の譜」(59-70) /吉川直人：オーストラリアの植物 (2) (75-77)

○ 和歌山県立自然博物館館報 第26号 2008年12月

(〒642-0001 和歌山県海南市船尾 370-1 和歌山県立自然博物館)

前田哲弥・山本修平・北野一夫：和歌山県に産するカヤツリグサ科フトイ属植物の分布 (43-66)

○ 南紀生物 第50巻第1号 創立60周年記念号 2008年6月

(〒646-0031 和歌山県田辺市湊 1479 玉井済夫方 南紀生物同好会)

村田 源：近畿地方植物誌をふりかえって遺存種の特殊な生態を考える (1-5) /土永浩史：紀伊半島大塔山系における蘚苔類の絶滅危惧種 (6-14) /山本修平：和歌山県の絶滅植物 I (46-49)

○ くろしお No.27 2008年10月

(〒646-0031 和歌山県田辺市湊 1479 玉井済夫方 南紀生物同好会)

内藤麻子・山本 晃：那智勝浦町那智山陰陽の滝周辺の植物 (1-3) /北野一夫：和歌山における野草採集記録 (2002.2~2008.5) (4-10) /後藤岳志：オニバスの新産地 (13) /久保田 信：京都大学瀬戸臨海実験所構内で穂の中軸が二股に分かれた2例目のエノコログサ (イネ科) (14) /乾風 登：和歌山県日高町で見つかったノシラン (ユリ科) (15)

○ 兵庫の植物 第18号 2008年5月

(〒654-0121 兵庫県明石市大蔵谷清水 583-36 小林禮樹方 兵庫県植物誌研究会)

柳川 宏・小林禮樹：兵庫県新産のヒナチドリを西播磨で発見 (1-4) /水田光雄：神戸港新産の帰化植物 (6) (5-6) /中西 収・小林禮樹・黒崎史平：ヤマホオズキの生活のしくみ—神戸市西区押部谷町木見新池における9年間の観察から— (7-18) /白岩卓巳：ハナワラビ属オオハナワラビ (ハナヤスリ科) の形態観察 (19-26) /藤本義昭：イネ科植物の葯 (7) (27-50) /矢内正弘：兵庫県産の植物図 (7) ミカン科・ニシギキ科・クロウメモドキ科・カヤツリグサ科 (51-98) /小林禮樹・黒崎史平：洲本市平安浦 (自生地) から由良町生石及び厚浜に移植されたハマアザミの現状 (99-102)

○ 倉敷市立自然史博物館研究報告 第23号 2008年3月

(〒710-0046 岡山県倉敷市中央 2-6-1 倉敷市立自然史博物館)

狩山俊悟・小島裕子・榎本 敬：岡山県瀬戸内市産植物目録 (1-74) /狩山俊悟：岡山県植物誌資料 (6) 岡山県のカバノキ科 (79-102) /狩山俊悟・小島裕子・榎本 敬：岡山県新産の帰化植物 (19) (111-115)

○ 広島市植物公園紀要 第26号 2008年3月

(〒731-5156 広島県広島市佐伯区倉重 3丁目 495 広島市植物公園)

島田有紀子：球根ベゴニアにおける葉挿し繁殖に関する研究 (1-52) /世羅徹哉・石田源次郎：広島県産ラン科植物に関する新知見 (53-63)

○ 比婆科学

(〒727-0013 広島県庄原市西本町 1丁目 7-7 中村慎吾方 比婆科学教育振興会)

第227号 2008年5月 — 吉野由起夫：広島県の維管束植物に関する文献目録 (6), 補遺と追加 (5) (7-16) /永野征治：フガクスズムシソウとギンバイソウ (23)

第228号 2008年10月 — 窪田正彦・窪田美良子：広島県植物誌資料 9 (7-13) /久藤広志・太刀掛

優：呉市倉橋町宇和木林道寒那火山線に自生するヤマビワ (30)

○ 鳥取県立博物館研究報告 第 45 号 2008 年 3 月

(〒680-0011 鳥取県鳥取市東町 2-124 鳥取県立博物館)

清末幸久・浅井康宏：鳥取県におけるオニハマダイコンの西日本初となる定着記録と県内の分布状況 (23-26)

○ 島根県立三瓶自然館研究報告 第 6 号 2008 年 3 月

(〒694-0003 島根県大田市三瓶町多根 1121-8 島根県立三瓶自然館)

高橋佳孝・井上雅仁・Ondopa J：ウスイロヒョウモンモドキの食草オミナエシの推移からみた三瓶山東の原草地の植生管理 (1-6) / 高橋佳孝・井上雅仁・兼子伸吾・内藤和明：絶滅危惧植物ムラサキセンブリの島根県内の分布状況と三瓶山自生地現状 (7-11) / 井上雅仁・高橋佳孝・白川勝信・太田陽子・渡邊園子・兼子伸吾・佐久間智子・堤 道生：三瓶の草原はなぜ大切か？～絶滅危惧植物からみた山陰地方の草原の重要性評価～ (13-17) / 兼子伸吾・井上雅仁・三島秀夫・高橋佳孝：島根県におけるミチノクフクジュソウ (キンポウゲ科) の生育地 (19-20)

○ 徳島県立博物館研究報告 第 18 号 2008 年 3 月

(〒770-8070 徳島県徳島市八万町向寺山徳島県文化の森総合公園 徳島県立博物館)

小川 誠：高精度植物標本画像のインターネットでの公開 (85-92)

○ 長崎県生物学会誌 No.64 2008 年 7 月

(〒852-8521 長崎県長崎市文教町 1-14 長崎大学教育学部生物学教室内 長崎県生物学会)

川内野善治：北松浦半島の植物観察記録 (9) (4-10) / 川内野善治：ウンゼンカンアオイ *Heterotropa unzen* (F. Maek.) F. Maek. とツクシアオイ *Heterotropa kiusiana* (F. Maek.) F. Maek. (ウマノスズクサ科) の垂直分布について (25) / 中西弘樹：長崎県植物誌ノート (31) (63-66) / 宮崎八州雄：長崎県内で近年観察した希少植物について (94-95)

○ 佐賀自然史研究 第 14 号 2008 年 8 月

(〒849-0303 佐賀県小城郡牛津町大字牛津 152-4 上赤博文方 佐賀自然史研究会)

岩村政浩：レッドデータブックさが追加候補植物 (6) (25-28) / 鶴田靖雄：佐賀県三養基郡みやき町で確認されたアマナ (ユリ科アマナ属) (38)

○ 鹿児島県立博物館研究報告 第 27 号 2008 年 3 月

(〒892-0853 鹿児島県鹿児島市城山町 1-1 鹿児島県立博物館)

寺田仁志・大屋 哲：焼き畑の影響を受けたトカラ列島悪石島と神によって守られてきた同島女神山の植生 (1-32) / 寺田仁志・大屋 哲・久保絃史郎：礫洲上甕島長目の浜周辺の植生 (33-58) / 大屋 哲：徳之島の植物採集記録 (59-64)

(編集部 中田政司編)